



# 相野谷中だより

第3号

令和4年6月9日  
相野谷中学校長室 発行

## 新入生歓迎会～リーダーとしての立ち回り

5月31日(火)の5～6限、毎年恒例となっております生徒会主催行事「**新入生歓迎会**」が開催されました。

「1年生に学校や全校生徒に慣れてもらう」「全校生徒で楽しい時間を過ごし、みんなの結束を深める」の2つを目標に、「走らない借り物競走」「なんでもバスケット」「ドッジボール」「学校かくれんぼ」など、運動の苦手な人にも楽しんでもらえるよう工夫された様々なレクリエーションを全員で楽しみました。



さて、この歓迎会も、修学旅行と同様に「**特別活動**」という教育領域に属します。生徒会役員を中心とした上級生は、1年生のために知恵をしぼって企画し、当日は一生懸命その運営に力を尽くしていました。また、終了後1年生からは、「先輩たちがとても優しかった」「盛り上げてくれて本当に嬉しかった」といった感謝の言葉がたくさん聞かれました。

今回のような取組は、1年生にとっては「自分がこんなに大切に扱ってもらっている」という「**自己肯定感(自尊感情)**」の獲得につながります。また、上級生にとっても「一生懸命考え、実行し、1年生にとっても喜んでもらった」「自分はだれかの役に立っているんだ」という「**自己有用感**」の高揚につながります。

### いかに周りの仲間の思いをくみ取るか

これがリーダーとしての絶対条件です。1年生のために、笑顔を絶やさず、取組の趣旨を理解し楽しんでもらう…。今回、特に生徒会役員の人たちは苦勞したことと思いますがせひその苦勞を、今後の行事等でのさらなるリーダーシップの発揮へとつなげて行ってほしいと思います。



## さつまいもの苗植え～2年生・技術科「栽培」の授業

5月17日(火)、2年生が技術科「栽培」の授業で、サツマイモの苗植えを行いました。

学校運営協議会委員の寺尾邦義さんにご指導いただき、畝の作り方、水平植えの仕方を教わり実際に体験しました。また、マルチシートを使わず、昔ながらの方法で干し草を敷き、干し草は乾燥を防ぐなどの効果があること等も教えていただきました。

このように、お忙しい中にもかかわらず、たくさんの地域の方々が中学校の教育活動をご支援くださることは、本当にありがたく、感謝の念に堪えません。

「地域の力を生きる力に」、「学校・家庭・地域が三位一体となった教育支援を」とよく言われますが、地域の方々とのさまざまな交流・体験の中で、



- ◆自分の故郷である相野谷を好きになる、誇りに思う心(郷土愛)が培われていく。
- ◆地域の方々からほめられたり、励まされたり、さまざまなご指摘を受ける中で、「自尊心(自己肯定感)」や「礼儀」、「社会規範」が育まれていく。



といった教育的効果が、多々期待できるものと思います。

今後も、行事はもちろん、地域の方々との「出会い・ふれあい・学び合い」の機会を少しでも多く設けていければ…と考えています。これまで以上のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ボランティア活動への参加～ふれあいいきいきサロン大里ランチ会

5月21日(土)、大里集会所で2年ぶりに開催された「ふれあいいきいきサロン」に、紀宝町社会福祉協議会と連携して、9人の本校生徒がボランティアで参加しました。生徒たちは「駄菓子コーナー」や「喫茶コーナー」のお手伝いに勤しみ、お年寄りや小学生のちびっこたちとカレーを食べながら楽しく交流しました。



「中学校学習指導要領 解説－特別の教科 道徳編－」には、

職場体験活動やボランティア精神を養う活動などの社会体験や自然体験、幼児児童、高齢者や障害のある人々などとの触れ合いや文化や芸術に親しむ体験を通して、よりよい人間関係の形成、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公德心、勤労、社会奉仕などに関わる道徳性の育成を図る。



とあります。

6月30日(木)には、1年生の生徒たちが、耳の不自由な方や手話通訳者の方々を交えての「福祉体験学習」に取り組む予定です。様々な立場の方との体験や交流を通じて、教科書やパソコンでは知ることのできないことを「実感」として学んでほしいと思います。